

Ⅲ 海外事例追跡調査

サイト「沖縄県におけるカジノ・エンターテイメント検討事業」掲載データの更新

【HOME⇒「カジノ・エンターテイメントとは」⇒「(4) 海外のカジノ 取組み事例の紹介」】に掲載されている、各国のデータの更新作業を行う。

①ラスベガス

➤ 統計資料に見るラスベガス

	2010年	2011年
ラスベガスへの年間訪問客数	3,733万5436人	3,892万8708人
ラスベガスの供給 ホテル/モーテル客室数	14万8,935室	
クラーク郡のカジノ収入	89億ドル	92億ドル
年間のコンベンション参加者数	447万3134人	486万5272人
ラスベガスのカジノ収入	58億ドル	61億ドル
旅行1回当たりの平均カジノ予算	466ドル	448ドル
ラスベガスの平均客室稼働率	80.4%	83.8%
全米の平均客室稼働率	57.6%	60.1%
ラスベガスのホテル平均客室稼働率	83.5%	86.9%
ラスベガスのモーテル平均客室稼働率	52.0%	56.0%
平均宿泊料金	95ドル	105ドル
平均滞在日数	3.6泊	3.7泊
旅行者の平均年齢	49.2歳	49.0歳
初めて訪れる旅行者の割合	18%	16%
海外からの旅行者の割合	18%	16%

出典：Las Vegas Meetings and Travel Professionals from the Las Vegas Convention & Visitors Authority
http://www.visitlasvegas.jp/media/fam_info.html (2012年3月現在)

②マカオ

➤ 統計資料にみるマカオ

		2009年	2010年
マカオの観光客数		約21,752,000人	約24,965,000人
主な出身国(多い順)	中国本土	10,989,000人	13,229,000人
	香港	6,727,000人	7,466,000人
	台湾	12,926,000人	1,292,000人
	日本	379,000人	413,000人
	マレーシア	332,000人	338,000人
	韓国	204,000人	331,000人
	シンガポール	256,000人	257,000人
	インド	107,000人	169,000人

	アメリカ	278,000 人	297,000 人
	ヨーロッパ	235,000 人	244,000 人
	オセアニア	135,000 人	127,000 人
	アフリカ	18,000 人	22,000 人
ホテルやゲストハウスの平均稼働率		71.4%	79.8%
平均滞在日数		1.1	0.9
訪問者の支出 (MOP) (マカオ元:マカオパタカ)	1人当たりの支出 (ゲームを除く)	1,616	1,518
	1人当たりの買い物費	633	773
総ゲーム収益 (百万 MOP)		120,383	189,588

出典: Statistics and Census Service Macao SAR Government : <http://www.dsec.gov.mo/Statistic.aspx>

③シンガポール

➤ シンガポールのカジノに関する歴史的経緯

・シンガポールは、国際観光地として知られながら、これまで宗教上の理由等からカジノは禁止されてきました。しかしながら、国内への年間観光客の停滞、観光消費の減少、滞在期間の短縮などに加え、近年の国際観光の発展とともに各国が観光誘致を進めていることに危機感が生まれ、生き残りをかけて2005年に統合リゾート開発の一環としてカジノ解禁に踏み切っています。

・2010年2月、セントーサ島の統合リゾート (IR) 施設「リゾート・ワールド・セントーサ」内にシンガポール初の合法カジノがオープン。また、4月には、マリーナ・ベイ地区のウォーターフロントに、統合リゾート施設「マリーナ・ベイ・サンズ」のカジノ施設が開業しました (アジア最大のコンベンションセンター併設)。シンガポールは、カジノの設置目的を外国人観光客、観光収入の増加としており、シンガポール人の利用抑制のため、入場料等の徴収を行っています。

➤ 統計資料に見るシンガポール

	2010 年	備 考
シンガポールへの観光客数	13,170,000 人	数値は2011年のもの ※1
観光消費額	222 億ドル	〃
1人あたりの観光消費額 (推計値)	1,686 ドル	〃
カジノ売上高	28 億2,700 万ドル	※2
カジノ税金	3 億3,000 万ドル	2010年4月～11月の額 ※3
コンベンション開催数	725 回	※4

出典: ※1 シンガポール政府観光局 公式ホームページ

※2 Casino City Press 「GLOBAL GAMING ALMANAC 2012」

※3 シンガポール財務省 公式ホームページ (カジノ税+物品サービス税)

※4 UIA (国際団体連合) 「2010年国際会議統計」

▶ シンガポールのカジノ・リゾート概観

マリーナ・ベイ・サンズ



マリーナ・ベイ・サンズ開業時概観



ガーデン・ベイ・ザ・ベイ(2012/6 開業予定)



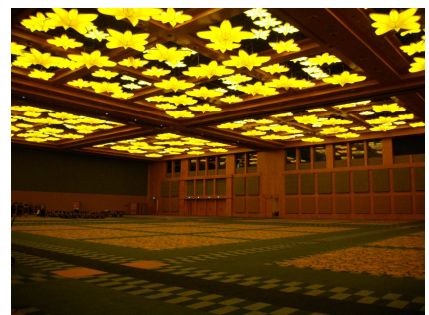
カジノ入場口



リゾート・ワールド・セントーサ開業時概観



空港と直結した交通機関



コンベンション施設

▶ 視察報告：シンガポール

平成 23 年度カジノ・エンターテイメント検討事業において、シンガポールの統合リゾート施設や、管理面の視察を行いました。

調査期間：平成 24 年 1 月 15 日（日）～18 日（水）

マリーナ・ベイ・サンズ(ラスベガス・サンズ社)



○シンガポールの統合リゾートのひとつ、マリーナ・ベイ・サンズを視察・訪問しました。

・政府はカジノのコンセプトについて、14 の会社から提案を受け、最終的に MICE を中心としたビジネスモデルのサンズ、エンターテイメントプログラムを中心としたゲンティンが選定された。

・MICE 施設における収容能力を 5 万人とし、カジノ以外の機能による相乗効果を期待。MICE 単独では利益が出ないため、5 万人に対し、別施設等トータルで消費が促されるようしている。

・企業の社会的責任（CSR）として、障がいをもつ学生のためにインターンシップの機会を与えている。地元の大学生のインターンシップ（6 ヶ月～1 年）も実施している。

・依存問題についても、「サンズ・プログラム」を実施、また、ハーバード大学と提携して研究し、政府のセーフガードプログラムもある。

ギャンブル依存症対策審議会 (NCPG)



○シンガポール政府地域開発青少年スポーツ省内に設置されている相談機関 (NCPG) を訪問しました。

・組織は、個人の集まりであり、様々な産業から参加し構成されている。地域開発青少年スポーツ省 (MCYS) 等に属している者ではなく、外部から参加し、省庁と協働し教育制度、社会悪の抑制について話し合う場である。

・主な活動内容は、ギャンブルの負の側面の情報発信、ホットラインの開設、各メディアを使ったキャンペーン等である。

・内国人のカジノ入場にあたっては、セーフティガードの一つとして入場料が必要であり、100S\$/日～2,000S\$/年を支払うこととなっている。

・100S\$で国民の問題ギャンブルの抑制が可能とは思わないが、それでも助成が用意されており、問題解決にはコストが掛かっていることを知らせる。

リゾート・ワールド・セントーサ(ゲンティングループ)



○シンガポールの統合リゾートのひとつ、リゾート・ワールド・セントーサを視察・訪問しました。

・2010年、最優秀大企業賞を獲得、2011年ベストIR賞を獲得した。

・ホテル他第2期のオープンは、2012年3月を予定している。

・カジノへの入場者は25,000人/1日、543卓(テーブル)、15種類のゲームを用意している。

・マーク・フィッシャー総監督によるオリジナルショー“ボヤージュ・デ・ラヴィー”はフェスティブ・ホテル内の常設シアターで施設開業時から上演されている。

・MICEの実績は、2011年度は12回、すでに3,900以上のイ

ベントを行っている

・テーブル席は、5,500人～7,000人(MAX)配置できる。

・社会貢献活動(CSR)は、5つのテーマで取組んでいる。環境、サンゴへの影響を配慮、サンゴの移植、フカヒレ・キャンペーン(フカヒレの消費が高まってサメの捕獲量が増え、絶滅の危機に瀕しているサメの保護が目的)、日本とのパートナーシップがある。

参 考:

シンガポール経済へのIRの貢献

・GDP貢献2220億円で、GDPが1.7%増加

(S\$3,700,000千/2010年1月～9月/出典:経済産業省)

・納税額252億円(S\$420,000千/2010年4月～11月/カジノ税+物品サービス税/出典:財務省)

・2010年入場者数3800万人(MBS2500万人、RWS1300万人/2010年秋予測値)

・雇用の創出5万人、直接雇用20,000万人(出典:経済産業省)

・2010年観光客数1160万人 前年比20%増(出典:政府観光局)

・IR事業者売上高4280億円、EBITDA2237億円

※ゲンティンシンガポール資料より引用/為替レート1S\$=¥60.00(2011年10月現在)

④韓国

➤ 韓国の観光客数、観光収入の整理

年	2008年	2009年	2010年	2011年
観光客数	6,890,841	7,817,533	8,797,658	9,794,796
観光収入 (US\$)	9,719,100	9,782,400	10,321,400	12,247,700
観光消費額 (US\$)	14,580,700	11,040,400	14,291,500	14,992,100

<http://kto.visitkorea.or.kr/eng/tourismStatics/keyFacts/visitorArrivals.kto>

⑤オーストラリア

※豪ドル/約85円 (H24年4/3現在)

➤ カジノ収入

・カジノ収入は全体の78%となっており、次いで飲食が13%で、二つの項目で91%を占めている。

(単位: \$M)	2007-08	2008-09	2009-2010
ゲーミング	3,168	3,346	3,419
飲食	466	543	569
宿泊	224	232	240
不動産関連・雇用	22	30	39
エンターテイメント	52	47	45
その他	117	79	91
合計	4,049	4,278	4,403

出典: Allen Consulting Group (2009) and ACA Economic Survey 2009-2010

<http://www.auscasinos.com/pdf/Casino%20Industry%20Survey%20Report%200711.pdf>

➤ ゲーミング収入(単位:\$M)

・2009年～2010年におけるゲーム機からの収入はカジノ収益全体の40%を占めており、テーブルゲームにおいては38%、海外収益については21%を占めた。

ゲーミングの種類	2008-09	2009-10
ゲーム機	1,340	1,382
テーブルゲーム	1,326	1,312
海外・コミッション収益	661	707
その他ギャンブル関連	19	18
合計	3,346	3,419

出典: ACA Economic Survey 2009-2010

<http://www.auscasinos.com/pdf/Casino%20Industry%20Survey%20Report%200711.pdf>

▶ 海外VIPからのカジノ収益

・海外からのVIP客によるゲーミング収入は大きい。2009年～2010年でカジノ収益全体の20.1%を占めている。

	2008-09	2009-10
収益 (単位:\$M)	675	688
カジノ収益の割合 (単位:%)	20.2	20.1

出典: Casino and the Australian Economy (2009) and ACA Economic Survey 2009-2010
<http://www.auscasinos.com/pdf/Casino%20Industry%20Survey%20Report%200711.pdf>

▶ 地域貢献(単位:\$M)

・カジノによる収入はチャリティー事業や文化イベント等に役立てられている。

イベント名	
チャリティー事業	1.8
コミュニティ・文化イベント	1.3
スポーツ・イベントスポンサーシップ	6.4
特別イベント	0.1
合計	9.6

出典: Allen Consulting Group (2009) and ACA Economic Survey 2009-2010
<http://www.auscasinos.com/pdf/Casino%20Industry%20Survey%20Report%200711.pdf>

▶ 雇用形態

- ・オーストラリアのカジノ全体で24,714人の雇用がある。(2009年～2010年)
- ・もっとも雇用が多いのはクラウン・メルボルンとザ・スターで、66%を占めており、16,300人が働いている。
- ・約52%がカジノ雇用者は正規雇用となっている。

雇用形態	人数	割合 (%)
正規雇用	12,807	51.8%
パート	5,508	22.3%
アルバイト	6,399	25.9%
合計	24,714	100.0%

出典: Allen Consulting Group (2009) and ACA Economic Survey 2009-2010
<http://www.auscasinos.com/pdf/Casino%20Industry%20Survey%20Report%200711.pdf>

➤ 雇用職種

- ・一番多い雇用職種はゲーミングスタッフで全カジノスタッフの約35%を占める。

職 種	人 数	割 合 (%)
マネージャー・管理職	2,135	9.7%
事務職	2,344	10.7%
ライセンス取得ゲーミングスタッフ	7,641	34.8%
シェフ	1,235	5.6%
バーマネージャー等	1,256	5.7%
ウェイター・ウェイトレス	3,133	14.3%
厨房スタッフ	781	3.6%
セキュリティ管理者等	1,250	5.7%
メンテナンススタッフ	480	2.2%
クリーニングスタッフ	861	3.9%
ハウスキーピングスタッフ	752	3.4%
その他	100	0.5%
合 計	21,968	100.0%

出典：ACA Staff and Training Survey 2009-10 (excludes Sky City Darwin and Jupiters Hotel & Casino)
<http://www.auscasinos.com/pdf/Casino%20Industry%20Survey%20Report%200711.pdf>

➤ カジノ客

- ・客のほとんどは市内にあるカジノ客で、国内、海外の順である。
- ・2008年～2010年は格安航空券を利用した国内旅行をささえた。

カジノ客内訳	2008-09	2009-10
地元客	40.61	40.61
国内客	4.70	4.70
海外客	2.35	2.42
合 計	47.66	47.73

出典：Allen Consulting Group (2009) and ACA Economic Survey 2009-2010 (excludes Sky City Darwin)
<http://www.auscasinos.com/pdf/Casino%20Industry%20Survey%20Report%200711.pdf>

➤ イベント・イベント参加者

- ・カジノ施設にて開催された会議やミーティング、展示会は2009年～2010年で3,863回となっている。うち783回は国際会議であり、68,181人が参加している。
- ・2009年～2010年にカジノで開催されたイベントでは292,801人が参加している。

イベントの種類	2008-09		2009-10	
	イベントの数	参加者	イベントの数	参加者
国際会議等	36	4,746	53	5,165
国内会議等	723	60,175	730	63,016
地元会議等	493	52,920	560	66,688

ミーティング	2,455	92,141	2,421	93,776
展示会	511	62,183	99	64,156
合計	4,218	272,165	3,863	292,801

出典：ACA Economic Survey 2009-2010 <http://www.auscasinos.com/pdf/Casino%20Industry%20Survey%20Report%200711.pdf>

⑥その他

参考にできる新データとくになし